

# 村の図書館から



## あしたむらんどだより

### 一日図書館長が 業務体験!

七月十九日(日) 開館記念行事として一日図書館長行事を行いました。村内の八名の皆さんが実際の図書館業務を体験し、図書館への理解を深めました。

開会の後、図書館カウンターにて伊藤喜平村長から辞令を受け取った八名の一日館長さんたちは、記念撮影の後、図書館からの業務内容の説明を受け、実際に業務体験をし、書庫の見学などをしました。一日図書館長は次の方々にお願いました。

#### 利用者代表

- 田本 幸夫さん (上野原)
- 勝亦久美子さん (合南)
- 小島 裕美さん (北又)
- 柳澤今日子さん (山二)

#### PTA副会長

- 小学校 半崎 一枝さん(北又)
- 中学校 木下るり子さん(北平)

#### 図書委員長

- 小学校 奥村瑞希さん(吉岡)
- 中学校 田中美紗さん(阿知原)



村長さんと記念写真を一枚

業務体験の様子



### 九月のおたのしみ会ご案内

#### 一緒に楽しく 遊ぶ時間を大切に

グッド・トイって知っていますか?さまざまなおもちゃがあふれる現在、本当に子どもにとって出会う価値のあるおもちゃ…。できれば、子どもには本物のおもちゃと出会わせてあげたいですね。

図書館では、いろいろな子育て支援をしています。今月初めて「おもちゃ」をテーマにしたおたのしみ会を開催します。

《これから子育て》の皆さん、《今が子育て真っ最中》の皆さん、《孫育て》のおじいちゃんおばあちゃん、世界のグッド・トイを体験してみませんか?

お魚シロフォン



クーゲルバーン



### 「世界の おもちゃ広場」

日時：九月二十七日(日)  
午前十時三十分～

指導：おもちゃコンサルタントの  
今村久美子さん他(名飯田市)

☆参加者を募集します!

対象…未就園児と保護者二十五組(ご兄弟も参加可能です)  
募集期間…八月二十日(日)～  
定員になり次第締め切りです



「おもちゃ広場」会場での様子

Q、「グッド・トイってなに?」  
A、グッド・トイ委員会とコンサルタントがすすめるおもちゃです。

- ① 平和的で
- ② ロングセラーで
- ③ 遊び・コミュニケーション尊重であること

さらに、○心地よい音○動きのバリエーション○感触の良さと適度な重さ○配色の美しさ○形の明確さ○丈夫で壊れにくい○修理しやすい○誰でも分け隔てなく遊べる…というポイントに沿ったもの。「おもちゃは人と人を結ぶ道具：が定義。大人と子どもがどれだけ会話ができるか、が重要」とコンサルタントの三人は言います。

はっば (全6種類)



前進木馬



ままごとセット



Q、「おもちゃコンサルタントって?」  
A、乳幼児の成長・発達とおもちゃの関連性から、お年寄りのリハビリ用

おもちゃ、メーカーの開発論までを幅広い視点でとらえ、教育や文化、社会生活の面からおもちゃを活用する専門家。NPO法人日本グッド・トイ委員会が認定した国内の資格取得者は約千二百人、県内では十数名が活躍中。

●主な活動場所は、保育園や未就園児サークル、デイサービス、老人福祉施設、育児サークル、図書館など。



お話つきみ

「わらべうた講習会」のご案内

十月二十一日(水) 午前十時半  
あしたむらんど下條・会議室  
指導：中津美奈子さん(飯田市)  
対象：未就園児と保護者約二十組



☆図書館では、心を豊かにする絵本と子どもの出会いを願って「えほんの会」を毎月一回開き、会員の皆さんで絵本について勉強しています。でも、赤ちゃんにとって絵本を読むより以前に必要なのが、言葉かけ、歌いかけ、だっこ(コミュニケーション)

ン)です。わらべうたは見事にこのすべてを満たしてくれる古来から人間が生み出した遊びなのです。歌うと、自然と優しい気持ちになり、赤ちゃんも幼児も、大きな子や大人でさえ、気がつくくと笑顔で幸せいっぱい!

今年度も、二回わらべうたの講習会を行います。ぜひ、ご都合をつけてご参加ください。



「赤ちゃんとお遊ぼう」のご案内

一月三十日(土) 午前十時三十分  
あしたむらんど下條・会議室  
講師：小林衛己子先生(千葉県松戸市在住)ときわ平幼児教室(主宰)

☆小林先生は、わらべうたを親子で楽しむことを、いちばん最初に絵本で提案してくれた方です。ふだんの生活の中で、自然にできる方法で私たちに教えてくれます。全国的に講習会を開かれ、わらべうたに関する本もたくさん出版しています。この機会に、絵本を見ながら、わらべうたに親しんでみてはいかがでしょうか?

小林さん著作 わらべうた絵本

「ととけこう よがあげた」  
こばやしえみこ案  
ましませつこ絵  
こぐま社 0歳から

「あかちゃんとお母さんのあそびうたえほん」  
小林衛己子編  
大島妙子絵 のら書店 0歳から

大活字本を知っていますか?

図書館では、開館以来、視力の弱い方のために大きな活字の本を百二十冊ほど所蔵してきました。図書館の奥の明るい窓際に大活字本の棚があります。向田邦子や宮尾登美子、幸田文、司馬遼太郎、立原正秋、ビートたけし、さくらももこなど、さまざまな作家の小説やエッセイなどが並んでいます。

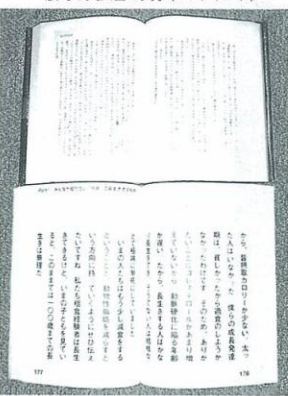
最近、新しく大活字本が発売され、これまでにあったものよりもまたさらに文字が大きくなり、驚くほど見えやすくなっています。こ



の手の本は、一冊が三千元以上する高価なもので、他の図書館から借りたりする方法もとりながらリクエストにお応えしていきたいと考えています。本のある場所がわからない場合、お気軽にカウンター職員にお申し出ください。



新しく入った大活字本



新しく入った大活字本の文字(22ポイント)